

◆ECI方式による大町ダム等再編土砂輸送用トンネル工事について

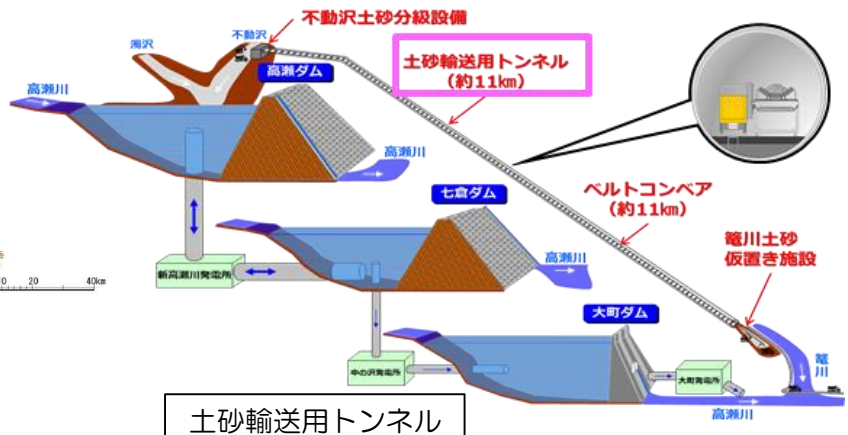
- ・平成18年7月洪水では、東京電力の高瀬川2ダムの協力を得て、国土交通省の大町ダムと合わせた3ダムが連携した特例的な操作を実施したこと等により、犀川流域の水位上昇を低減させ、洪水被害を軽減させました。
- ・大町ダム等再編事業は、大町ダム及び高瀬ダム・七倉ダム（東京電力リニューアブルパワー（株））の再編による洪水調節容量を新たに確保します。この洪水調節容量を用いて、大町ダム下流の河川に対し、3ダム連携により最も効果的となる洪水調節方式に変更します。
- ・これらの洪水調節容量を確実に確保するため、高瀬川の堆砂対策として、土砂輸送用トンネル（L=10,793m）を整備します。
- ・土砂輸送用トンネルの掘削は主にTBM工法を予定していますが、掘削延長は約11kmと長く、国内での実績も少ない状況であり、地質的懸念事項（肌落ち・崩落、大量湧水、地耐力不足）に対して、高度な技術力が必要です。
- ・そこで、設計段階から施工者の技術力とノウハウを投入し、確実な施工と建設コストの縮減、工期短縮が図れるECI方式（技術協力・施工タイプ）による契約を行い、検討を進めています。

※ECI：Early Contractor Involvement

位置図



高瀬ダムへの土砂流入状況



<参考>

大町ダム等再編土砂輸送用トンネル工事(予定)

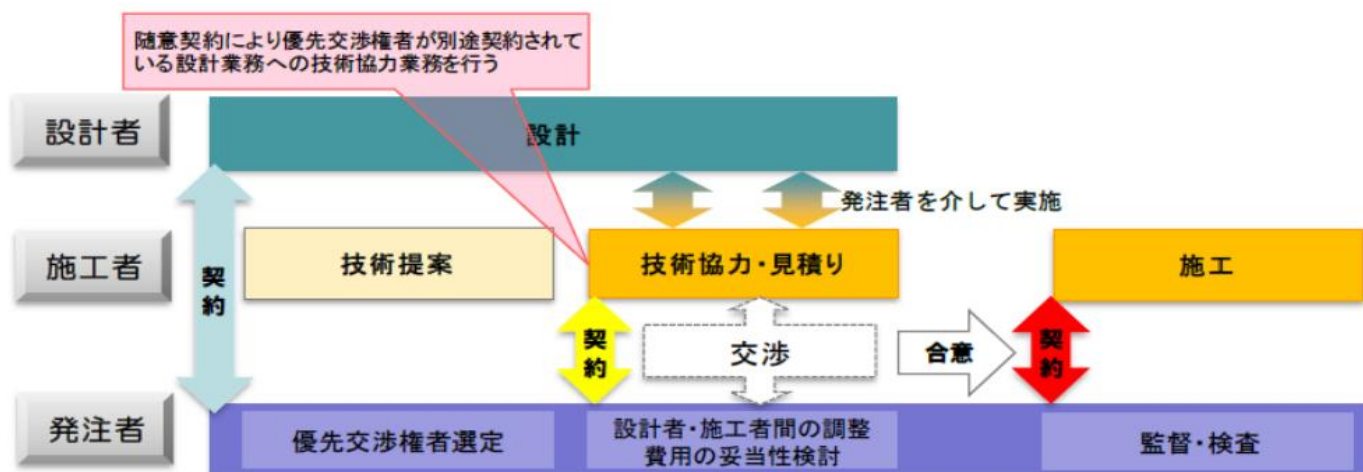
工事場所:長野県大町市平地先

内容:トンネル掘削(NATM工法) 延長54m

トンネル掘削(TBM工法) 延長10,719m

◆ECI方式(技術協力・施工タイプ)

- ・技術提案・交渉方式とは、現場条件等が特殊で当該工事の仕様の確定が困難である場合に技術提案を公募の上、その審査結果を踏まえて選定した者（優先交渉権者）と工法、価格等の交渉を行うことにより、仕様を確定して契約する方式です。
- ・この方式のうち、今回採用したECI方式(技術協力・施工タイプ)は、優先交渉権者(施工者)と技術協力業務の契約を締結し、別途発注している設計業務に技術協力業務の提案内容を反映させながら、工法・価格等の交渉を行い、交渉が成立した場合に施工の契約を締結します。



大町ダム等再編土砂輸送用トンネル(ECI方式)スケジュール

- ・設計業務
 - 業務名：令和2・3年度高瀬川左岸トンネル詳細設計業務
 - 受注者：八千代エンジニアリング(株)
 - 工期：令和2年9月15日～令和4年11月11日
- ・技術協力業務
 - 業務名：大町ダム等再編土砂輸送用トンネル工事にかかる技術協力業務
 - 受注者：大町ダム等再編土砂輸送用トンネル工事前田・安藤ハザマ 特定建設工事共同企業体
 - 工期：令和3年12月16日～令和4年10月21日
- ・大町ダム等再編土砂輸送用トンネル工事
 - 令和4年度内に工事契約を予定